

中海・宍道湖圏域における大型水鳥類を通じた 「観光」および「農業」の取組事例と今後の展開について

斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

地域づくり部会

斐伊川水系 中海・宍道湖圏域『大型水鳥類』観光振興(エコツアー)地域づくりプランへの展開

中海・宍道湖圏域『大型水鳥類』を通じた観光振興プランに求められる3つの視点<基本条件>

1. 関心、興味のあるツアー・企画等の圏域「観光ニーズ」への対応

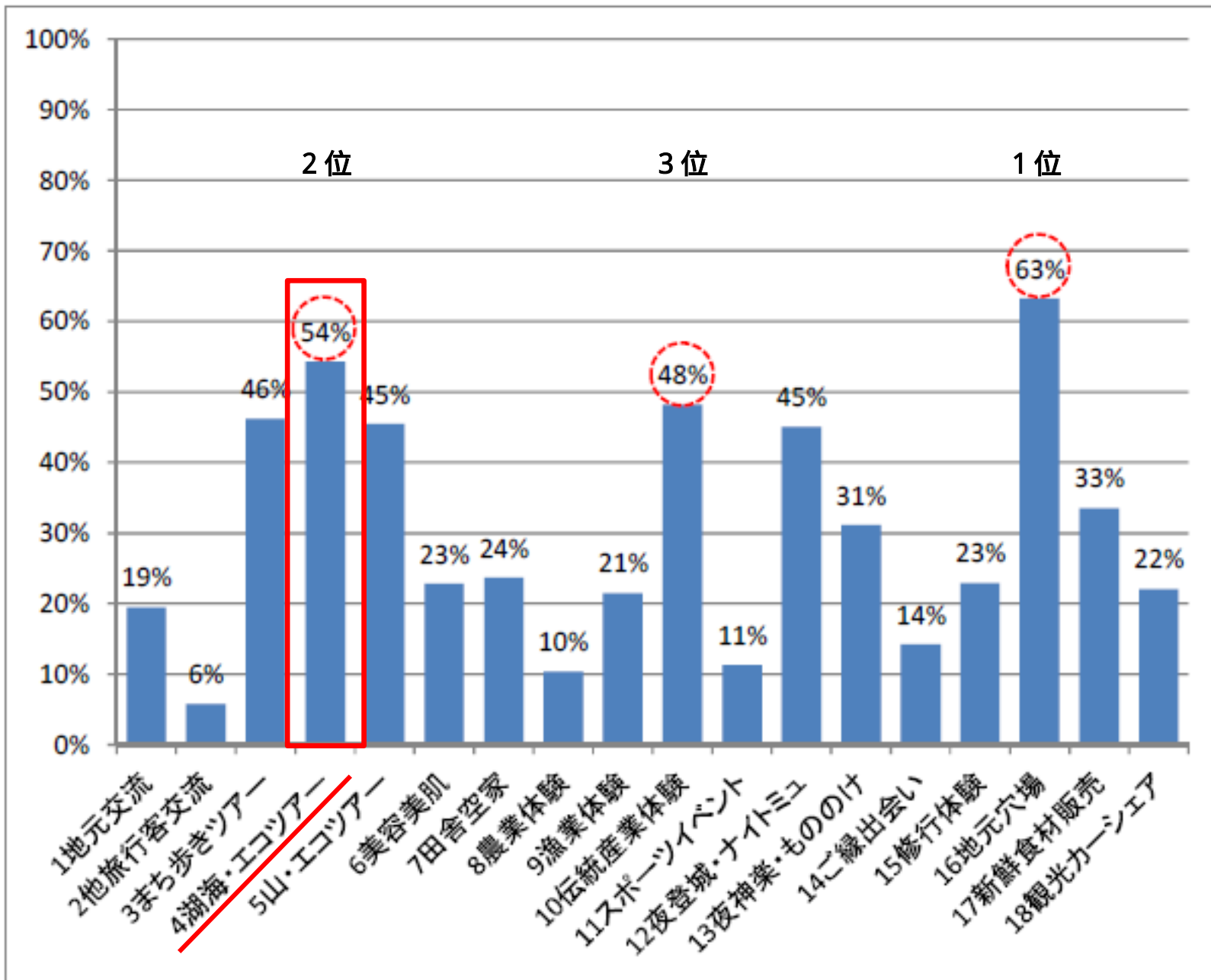
「中海宍道湖大山圏域観光アンケート調査」(平成26年3月)において、圏域で関心・興味のあるツアー・企画等に関する18項目の観光ニーズ・アンケートでは、“地元の穴場スポット(お店、眺望)の情報提供(63%)”に次ぐ第2位が“宍道湖・中海・日本海の自然と触れ合えるエコツアー・遊覧ツアー(54%)”であり、圏域内の自然とのふれあいに対する一般観光客の関心が高い。換言すれば、この分野の観光需要への対応が決定的に遅れていると考えられ、中海・宍道湖等の雄大な水辺景観の中での『大型水鳥』との魅力的なふれあいは、そのニーズを満たす有力なコンテンツになり得ると考えられる。

2. 圏域観光客数の減少が顕著な「冬季観光」への対応

「平成26年鳥根県観光動態調査結果」および「平成26年(鳥取県)観光客入込動態調査結果」によれば、中海・宍道湖圏域の月別観光入込客数の変動を見ると春から夏(5月~8月)にピークがあり、冬季(11月~2月)の来客数の顕著な減少が課題とされている。斐伊川水系において「現況安定生息種」とされ、西日本最大の渡来数を誇るハクチョウ・ガン類は、10月に飛来し3月まで中海・宍道湖圏域に生息(渡来数が多くなるのは11月~2月)する。このため、現況の2千羽から3千羽におよぶハクチョウ・ガン類や、アピール度のさらに高い今後のツル類の越冬などの“冬鳥”としての「大型水鳥類」の観察シーズンを狙った観光企画は、冬季集客効果を満たす格好の素材(自然資源)になり得ると考えられる。

3. 全国最下位レベルの圏域「インバウンド観光」への対応

現在、国の成長戦略として訪日外国人旅行者の増加が求められているが、「中海・宍道湖・大山圏域インバウンド総合計画(平成27年2月)」によれば、平成25年の県別訪日外国人訪問率を見ると、鳥取県46位、島根県47位と全国最下位に甘んじている。中海・宍道湖圏域では、米子空港 韓国・ソウル空港、境港 韓国・東海港 ロシア・ウラジオストク港の国際定期便が就航し、これらの国々とは、ハクチョウ・ガン・ツル類等の繁殖・中継・越冬地としても強く結ばれた関係にある。今後の生態系ネットワークの広域的な展開の中で、渡り鳥を介した北東アジアとの『環境交流』の活発化により訪日来訪者の増加を図る方向が考えられる。また、欧米においてはアジア諸国に比べてバードウォッチング人口が圧倒的に多く、例えばアメリカ4,800万人、イギリス120万人の市場規模があり海外バードウォッチング・ツアーも活発であるが、この分野における日本の計画的・組織的取組みは未開拓な現状にある。わが国を代表する多様な野鳥の観察が可能であるのみならず、歴史・文化や食も含めて大きなアピール効果を有する中海・宍道湖圏域が率先した「欧米バードウォッチャー訪日戦略」の検討が有望と考えられる。



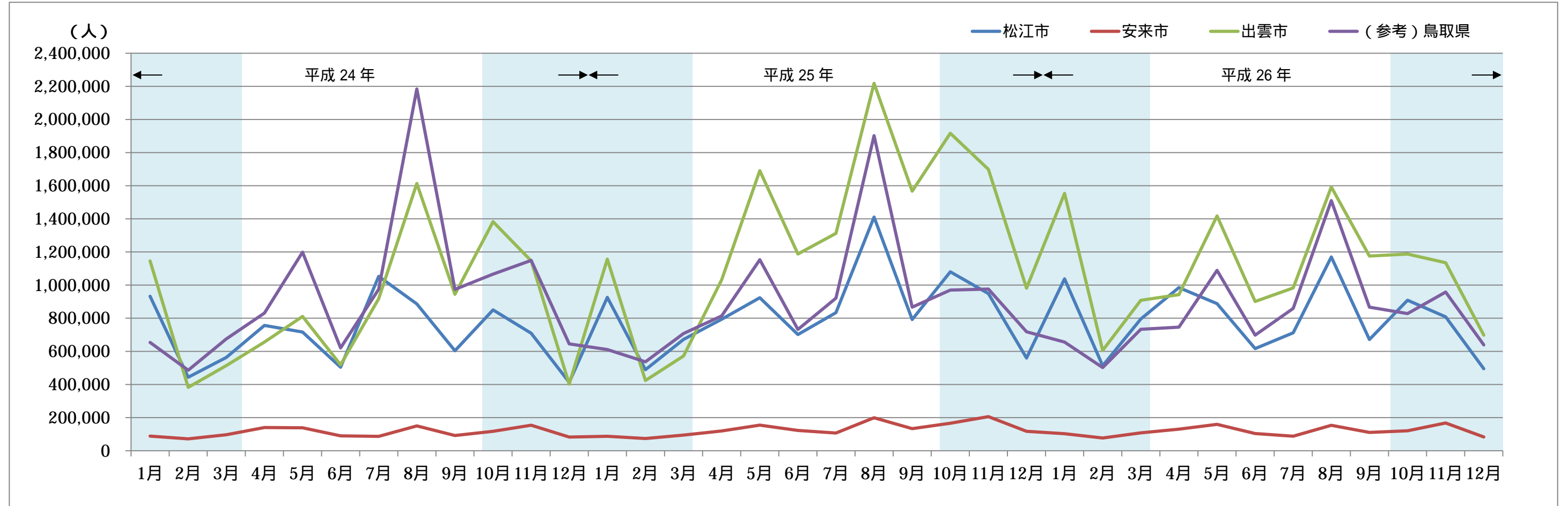
中海・宍道湖・大山圏域、
関心・興味のあるツアー・企画等集計結果

1. 地元の方との触れ合いや交流機会
2. 他旅行客との触れ合いや交流機会
3. 地元ガイドによる町歩きツアー
4. 宍道湖や中海あるいは日本海の自然と触れ合えるエコツアー・遊覧ツアー
5. 大山などの中国山地の自然や天然水等と触れ合えるエコツアー、健康ツアー
6. 美容・美肌ツアー
7. 田舎の空き家で宿泊できるサービス
8. 農業体験(耕作、収穫、食材加工、農業機械の操作など)
9. 漁業体験(地曳網、漁師体験、せりなど)
10. 伝統産業体験(和菓子づくり・そば打ち・めいの加工・和傘づくり(紙はり)など)
11. ランニング、サイクリングなどの気軽に参加できる地元スポーツイベント
12. お城の夜間登城、美術館のナイトミュージアム
13. 夜神楽、もののけナイトツアー
14. ご縁で結ぶ出会いツアー
15. お寺や神社での修行体験
16. 地元の穴場スポット(お店、眺望など)の情報の提供
17. 駅や空港などで、地元の新鮮な食材(野菜・鮮魚・精肉など)の販売
18. 観光施設間を移動できる観光カーシェアリングのサービス

(※複数回答)

資料) 中海宍道湖大山圏域観光アンケート調査(平成26年) 中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会

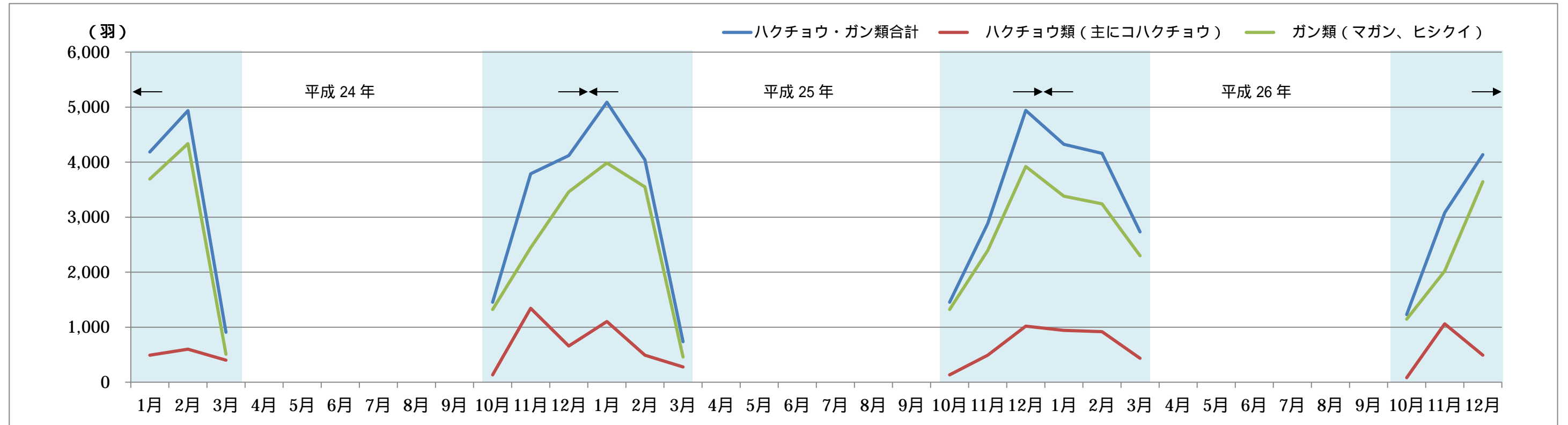
中海・宍道湖圏域 月別観光入込客数変動<平成24年1月~平成26年12月>



出典) 鳥取県は「観光客入込動態調査結果」、島根3市は「島根県観光動態調査結果」より

鳥取県の市町村ごと・月ごとの入込客数は未公開。島根県各市の数は延べ数、鳥取県は実数

中海・宍道湖圏域、斐伊川水系ハクチョウ・ガン類月別個体数変動<平成24年1月~平成26年12月>



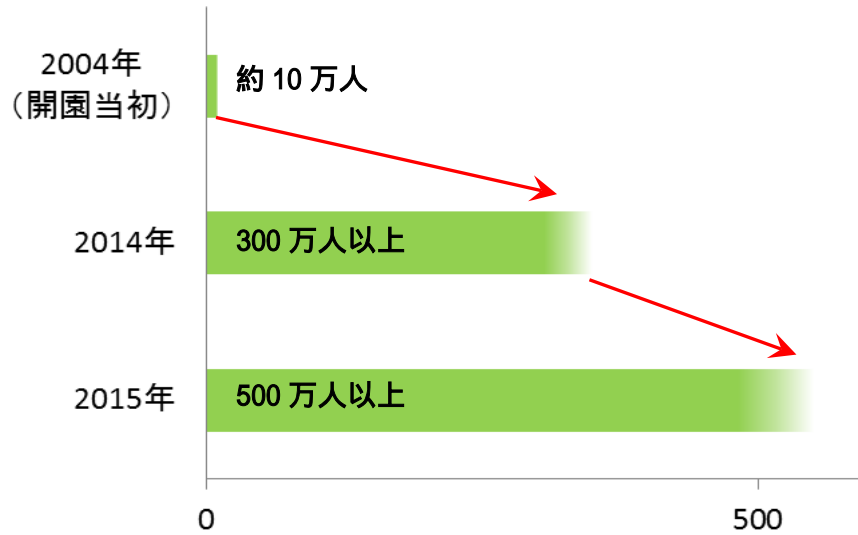
出典) 鳥取県ガンカモ調査集計結果、鳥類生息調査業務報告書(島根県)より

自然環境を活かした観光商品化により潤う地域経済へ

立入が制限された自然へのアクセスを「売り」とする観光 順天（スンチョン）自然生態公園（韓国）

韓国南部に位置する河口湿地約 2,800ha を保護区とし、自然とふれあえる取組を行ったところ、開園当初(2004 年)は年間 10 万人程度、**2014 年は 300 万人以上、2015 年は 500 万人以上**もの人が来園するようになった。入園料(2014 年は約 **15 億円**)の他、カフェ、観光船や売店、ビジターセンターの雇用が発生し、**その経済効果は莫大**。

当地で越冬するツル類の保護のため、近隣の水田約 300ha ではツルの採食地となるよう、環境に配慮した農業を推進している。



WWT(鳥湿地トラスト)ロンドン湿地センター（英国）

ロンドン中心部より 10km ほど南西に位置する湿地で、自然とふれあえる取組を行ったところ、**年間約 23 万人**もの人が余暇に訪れるようになった。また、整備前と比較して、近隣の住宅の**不動産価格も上昇**した。



自然と共生する産業を営む人が、自らの仕事を「売り」とする観光 知床

昆布漁を通じたエコツアーを 2 日で一人あたり 30,000 円で展開しているなど、世界自然遺産にも登録された知床の自然を、産業という切り口で漁師さんが案内。

この他、船に乗ってシャチやヒグマ、漁業資源を食害するとして地元漁師からは厄介者とされているトドなどを、漁師のガイドのもと観察するエコツアーも展開している。

知床岬赤岩地区 羅臼昆布エコツアー

知床岬の先達部赤岩地区で行われている昔ながらの羅臼昆布漁に触れ、自然と共生しながら漁業を営んできた人々の歴史・文化を学ぶ特別なエコツアーを、2016年までの期間限定で実施します。

70年以上前から行われていた羅臼昆布漁。かつて知床岬先達部に至るまで立ち並んでいた海岸線の漁業活動小屋（番屋）も減少し続け、先達部地区の自然や歴史を知る人は減っています。

伝統的に続く羅臼昆布漁を漁法・先人の苦労を赤岩地区に立って知ることが、知床における人と自然の関わり合いや共生の歴史を知り、考えること。知床岬先達部で学ぶエコツアーです。

※この事業は、適正利用エコツアーリズム検討会議「知床岬赤岩地区羅臼昆布ツアー」検討部会のモニターツアーとして、2014～2016年までの3年間実施するものです。

期間	7月15日～8月15日 上記期間中毎日運航 カレンダー
時期	2日間
料金	¥30,000
人数	1便20名限定 ※4名様より運行
スケジュール	【1日目】

ガイド紹介

船名 No.12 SEAMAX
野田克也さん
サケ・イカ定置網漁の漁師であり、ライダーハウスMAXの経営者でもある。知床の海を知りた野田船長の船は、美しい知床の様々な表情を見せてくれる。

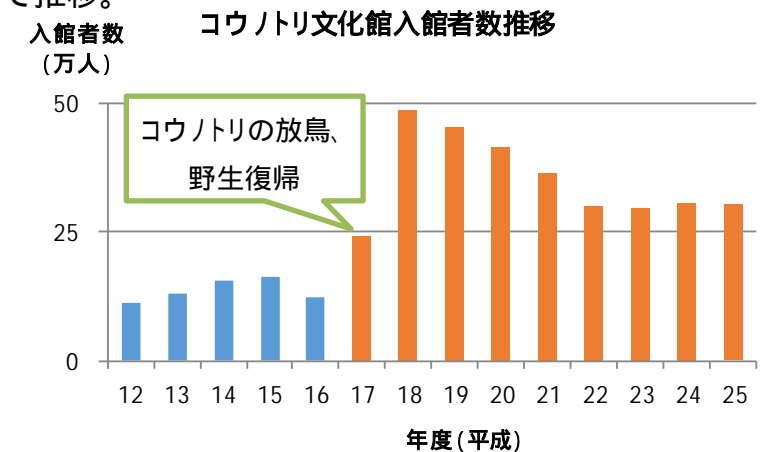
ライダーハウス SEA MAXへとぶ →

船名 第二十八 桐栄丸
浜田久吉さん
羅臼昆布漁師と、羅臼ウニ漁師でもある。知床の海を知りた浜田船長の船で、知床のまだ見ぬ表情に連れて行ってもらう。

第一次産業と昔ながらの街並みを「売り」とする観光 豊岡市

コウノトリの野生復帰に向け、堤外・堤内でコウノトリもすめる豊かな自然環境づくりを推進。温泉街の伝統的建造物の保存に努める等、昔ながらの街並みの保全を推進。

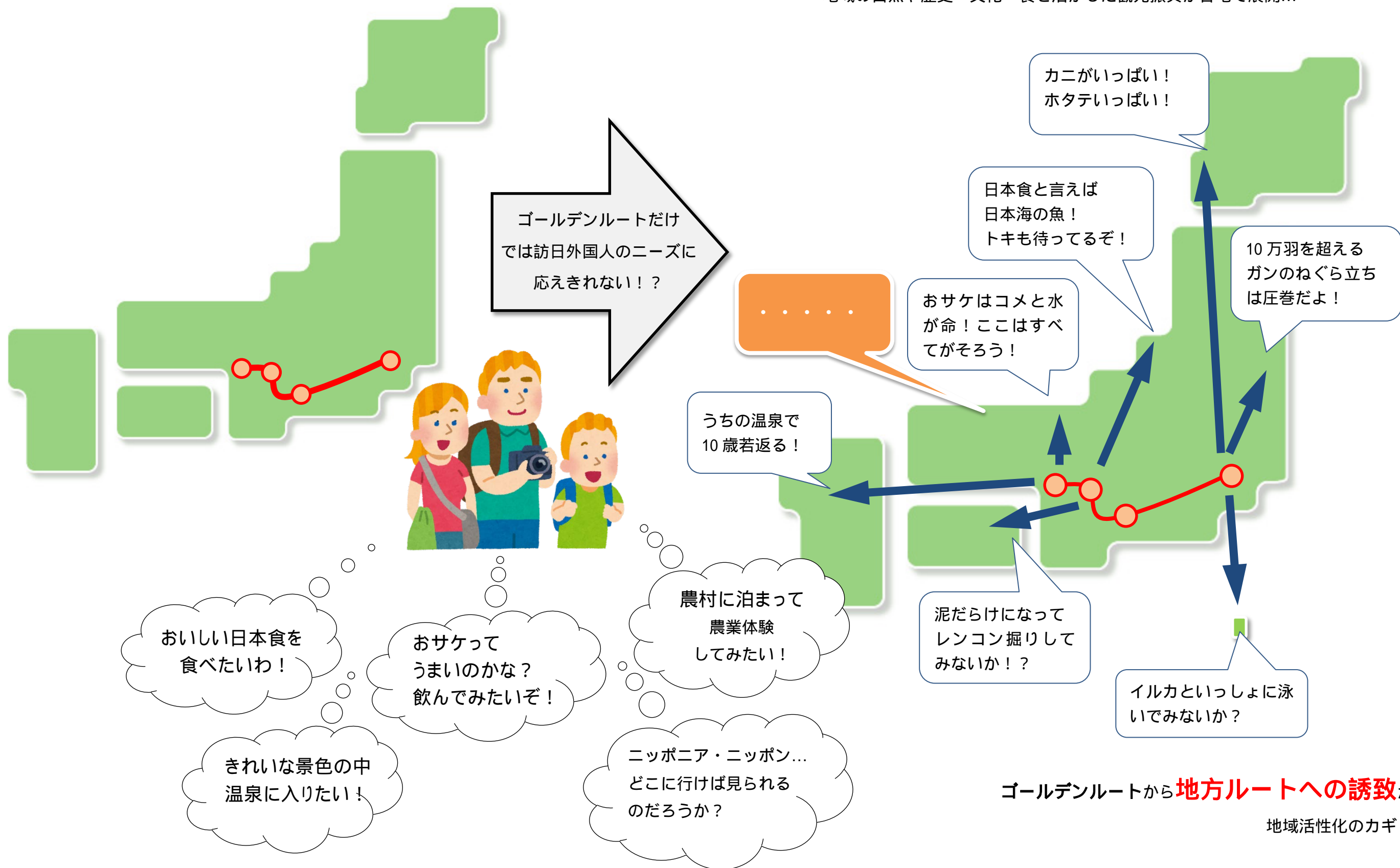
城崎温泉の外国人宿泊数は、平成 23 年は 1,100 人程だったが、平成 26 年は約 14,000 人と増加。コウノトリ文化館（コウノトリの郷公園に併設）来館者数は平成 17 年のコウノトリ野生復帰を境に増加、およそ 30 万人/年程度で推移。



わが国における訪日外国人の動きにも変化あり

従来は**東京** **名古屋** **京都** **大阪**が**ゴールデンルート**

日本に関心を持つ外国人に向けて、各地で今やあの手この手！
地域の自然や歴史・文化・食を活かした観光振興が各地で展開...



『斐伊川水系と大型水鳥類の魅力を知り、伝えてもらうためのモニターツアー』

実施概要(案)

ツアーの目的

ラムサール条約登録湿地である宍道湖・中海を含む斐伊川水系を軸として、地域を代表する大型水鳥類を指標に、河川内外の豊かな自然環境をネットワークさせ、併せて当圏域の振興にもつなげていく「斐伊川水系生態系ネットワーク」の取組が始まっています。

本ツアーは、その一環として、冬季観光資源としてのポテンシャルを有する「大型水鳥類」の魅力に関係者にご紹介し、その活用可能性のヒントを得ていただくことを目的として実施するものです。

実施日時 2016年1月28日(木) 午前9時より正午過ぎまで(雨天決行)
※オプション観察は朝6:45 道の駅 湯の川集合

主催 斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり
検討協議会

共催 出雲観光協会・(公財)日本生態系協会

協力 (公財)ホシザキグリーン財団

出発地 出雲市役所または道の駅 湯の川(解散地点も同様)(移動はマイクロバスを使用)

受付開始 出雲市役所 8:00 または道の駅 湯の川 8:30

参加者 観光協会関係者等 25 名程度うちオプション観察への参加は 15 名程度

持ち物 防寒具、動きやすい服装・靴、飲み物、雨具、筆記用具、あれば観察道具(双眼鏡、カメラなど)※双眼鏡はお貸しできます



ツアー実施イメージ



大型水鳥イメージ

ツアー実施担当者

(公財)日本生態系協会 主任研究員 柿本 恵里那

TEL: 048-649-3860 Email: e.kakimoto@ecosys.or.jp 緊急連絡先: 090-7811-8783

ツアーの行程

- 8:30 ①' 出雲市役所出発 - (道の駅湯の川へ移動、約20分) -
 9:00 ①道の駅 湯の川出発 - (宍道湖グリーンパークへ移動、約20分) -
 9:30 ②宍道湖グリーンパーク(主催者代表あいさつ等)
 ③宍道湖グリーンパーク周辺で野鳥観察
 内容: 双眼鏡の使い方、野鳥の観察方法をレクチャー
 - (出島地区へ移動、約10分) -
 10:30 ④出島地区~⑤斐伊川河口(灘橋、又は西代橋を渡って斐伊川右岸へ)
 ~⑥斐伊川右岸の水田地帯で野鳥観察
 ※鳥類の出現状況に応じて適宜コースを選択しつつ、④~⑥をバスで移動
 - (道の駅湯の川へ移動、約15分) -
 12:00頃 ⑦道の駅 湯の川到着・解散
 12:30頃 ⑦' 出雲市役所到着・解散

<オプション: 大型水鳥類のモーニングフライト~ねぐらとしている「宍道湖湖心からのねぐら立ちをみよう!」~>
 2000羽を超えるガンの群れが、鳴きながら頭上を飛ぶ様子は圧巻です!
 集合: 6時45分、場所: 道の駅 湯の川 ※暖かい飲み物、朝食持参



朝の飛び立ちイメージ

中海・宍道湖圏域の大型水鳥と水辺の大自然～斐伊川水系生態系ネットワーク写真展～
実施概要(案)

目的

冬季観光資源としてのポテンシャルを有しながら、一般には十分認識されていない「大型水鳥類」について、その魅力や価値を発信するとともに、多様な主体の連携により進められている、大型水鳥類を指標とした生態系ネットワークの取組みを伝え、地域連携の輪を広げること。

写真パネルの構成

斐伊川本川宍道湖、中海、築地松などの斐伊川水系を代表する自然景観の中でたくましく生きるガン類、ハクチョウ類などの大型水鳥類の写真、および斐伊川水系の恵まれた自然を守り育て、活かしていく地域づくりについて解説するパネルあわせて10枚程度。

展示場所(予定)

自治体	開催場所	開催日程
出雲市	道の駅 湯の川	平成28年1月28日(木)から2月7日(日)
松江市	道の駅 秋鹿なぎさ公園	平成28年2月8日(月)から2月21日(日)
境港市	みなとさかい交流館 境みなと・オアシス	平成28年2月22日(月)から3月上旬 ※1
安来市	道の駅 あらエッサ	平成28年3月上旬から3月中旬 ※1
米子市	JR 米子駅	平成28年3月中旬から3月下旬 ※1

※1 詳細日程につきましては決定次第、国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所ウェブサイト
(<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>)に掲載いたします

主催 斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

企画 国土交通省出雲河川事務所 編集・協力 (公財)日本生態系協会

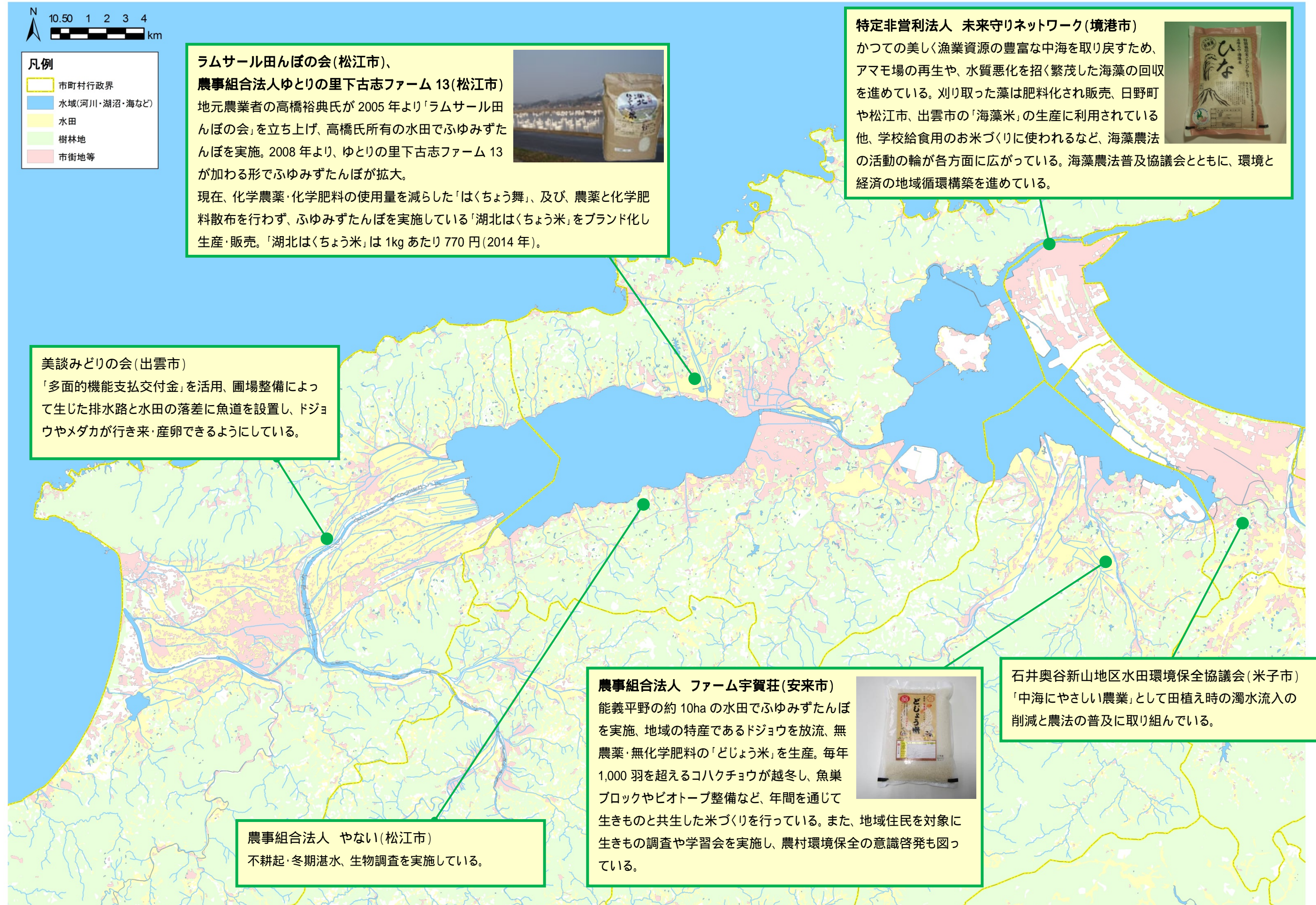


写真展実施イメージ

写真のパネルレイアウト



中海・宍道湖圏域における「環境保全型農業」の取組事例



指標となる大型水鳥類と『生物多様性水田づくり』の関係概要—中海・宍道湖圏域での取組状況—

指標種群	対策項目	食性		大型水鳥類の生息に影響をおよぼす水田づくりの要因								備考
		植物	動物	A.水域・連続性の確保		B.水管理		C.農薬・化学肥料		D.耕起・耕作		
				常時水域	水田魚道	冬期湛水	中干し調整	無農薬・無化学肥料	減減栽培	秋耕実施	裏作実施	
1.ハクチョウ類	コハクチョウ	●		△	△	◎	△	◎	◎	×	×	冬鳥として水田を利用
	オオハクチョウ	●		△	△	◎	△	◎	◎	×	×	冬鳥として水田を利用
2.ガン類	マガン	●		△	△	◎	△	◎	◎	×	×	冬鳥として水田を利用
	ヒシクイ	●		△	△	◎	△	◎	◎	×	×	冬鳥として水田を利用
3.ツル類	ナベヅル	●	○	◎	◎	◎	△	◎	◎	×	×	冬鳥として水田を利用
	マナヅル	●	○	◎	◎	◎	△	◎	◎	×	×	冬鳥として水田を利用
4.	コウノトリ		●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	×	留鳥として水田を利用
5.	トキ		●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	×	留鳥として水田を利用
	(農)下古志ファーム13			-	-	実施	-	実施	実施	-	-	冬期湛水水田は約3.3ha (2015年)
	(農)ファーム宇賀荘			-	-	実施	-	実施	実施	-	-	冬期湛水水田は約10ha (2015年)

◎: 生息環境(採餌・埒等)の改善効果が大きい
 △: 生息環境(採餌・埒等)の改善効果が小さい又は無い
 ×: 生息環境(採餌・埒等)の劣化に影響する

「C. 農薬・化学肥料」の効果

化学農薬、化学肥料の使用は、一般に、圃場の生物多様性に負の影響を及ぼす。毒性の強さや残留性等、圃場に生息する生物への影響を考慮する必要がある。有機栽培は化学農薬・化学肥料の使用量を減らすのではなく、使用しないことが条件の一つとなっている。

中海・宍道湖圏域では、安来市（ファーム宇賀荘）と松江市（ラムサール田んぼの会、下古志ファーム13）等で取組まれ、一部はブランド米として販売。



島根県エコロジー農産物認証マーク

「D. 耕起・耕作」の効果

「秋耕」「裏作」の実施は、一般に、水田の落ち穂や二番穂を食物資源とするハクチョウ・ガン類の生息に負の影響を及ぼす。「秋耕」の近年の広がりにより、ガン・ハクチョウ類が減少している報告例もある。

冬期湛水を実施しつつ、一部二番穂を残すことによりハクチョウ等の採食場の保全に取り組んでいる地域もある。



二番穂を残し、ハクチョウ類の食物資源を確保する取組

「A. 水域・連続性の確保」の効果

フナ、ドジョウ等水辺に依存する魚類の視点に立った水域連続性の確保により、これらの水生動物が水田+水路（+河川）で生活史を全うでき、安定して生息できるようになる。肉食性の水鳥類の生息環境改善に効果が期待される。中海・宍道湖圏内では、出雲市美談みどりの会等による整備実績がある。



水田魚道の設置により、落差の生じた水路と水田の連続性を確保
 資料) 水田魚道づくりのすすめ (農林水産省)

「B. 水管理」の効果

冬期湛水：非灌漑期にも水田に水を張ることにより、ハクチョウ・ガン・ツル類等が休息の場、ねぐらの場等として利用できるようになる。また、「A. 水域・連続性の確保」等の取組とあわせて、コウノトリ等大型肉食鳥類の食物資源となる水生動物の生息環境改善にもつながる。

中海・宍道湖圏域では、安来市（ファーム宇賀荘）や松江市（ラムサール田んぼの会、下古志ファーム13）等で取組まれており、コハクチョウの越冬地となっている。

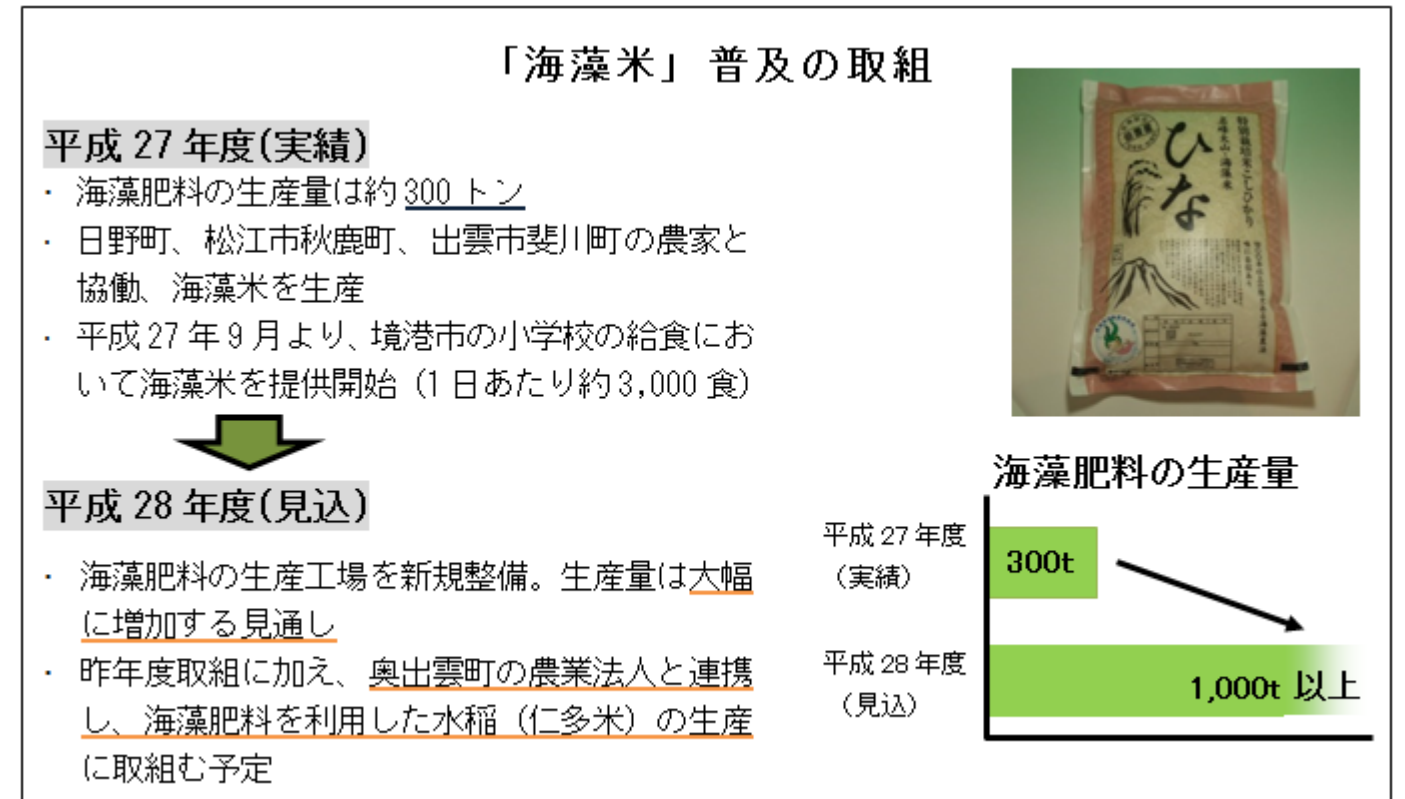
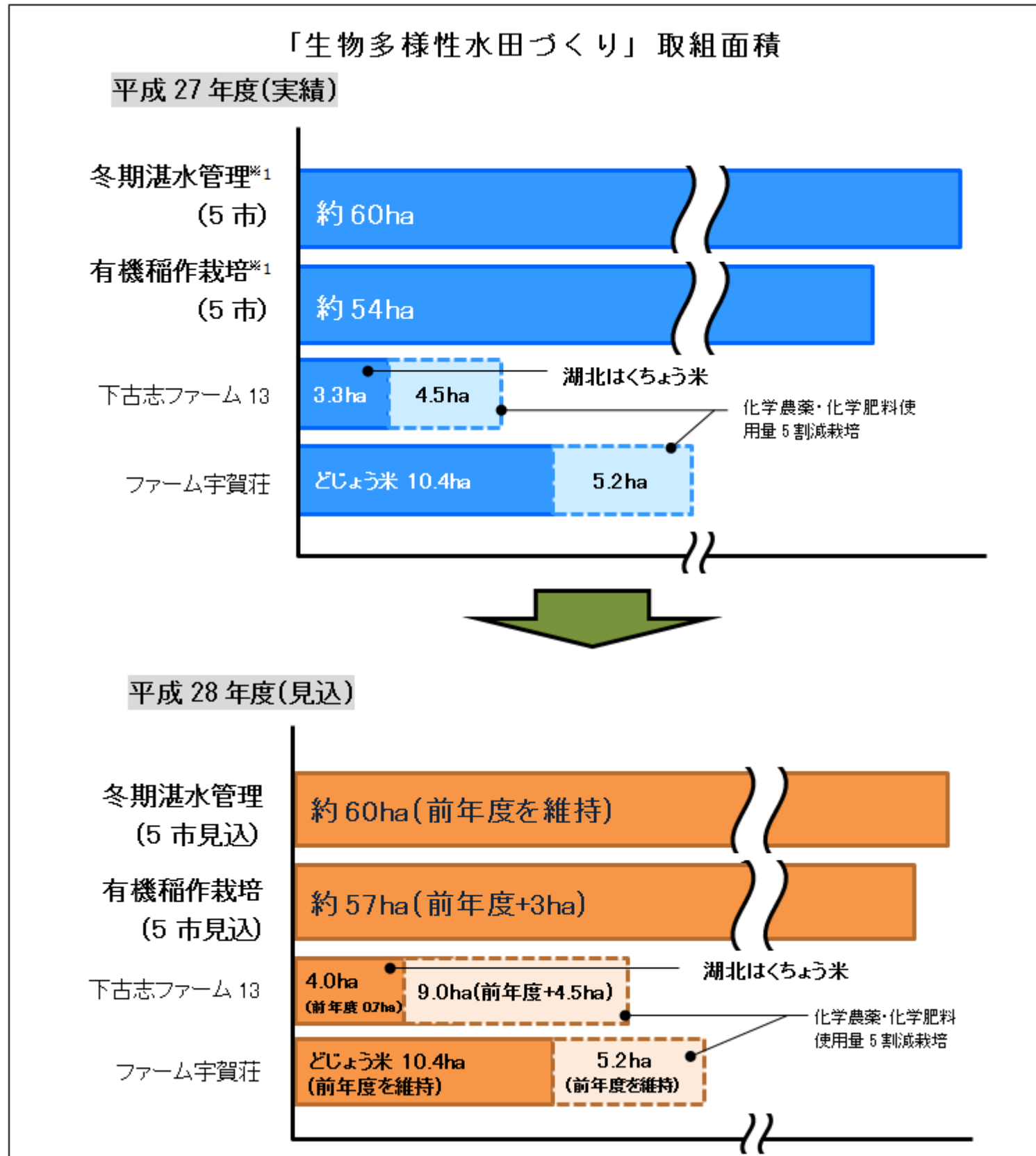
中干し調整：カエルの仲間など、幼生は水域で、成体は水辺～陸域で生息する水生動物の視点に立ち、成体となるまで中干しを行う日を延期すること等により、水田に生息する水生動物の生息環境改善を図ることができる。兵庫県豊岡市の「コウノトリ育む農法」の要件の一つ。



冬期湛水水田を、ハクチョウ類が休息の場として利用

斐伊川水系における「環境保全型農業」の取組実績と今後の展望

生態系ネットワークに関する取組が始まるなか、圏域における環境保全型農業は広がりを見せている



1 5 市の冬期湛水管理、有機稲作農業は「環境保全型農業直接支払交付金」申請・交付対象水田の面積を元に算出している。支援を受けずにこれらの農法に取り組みされている水田は含まれていない

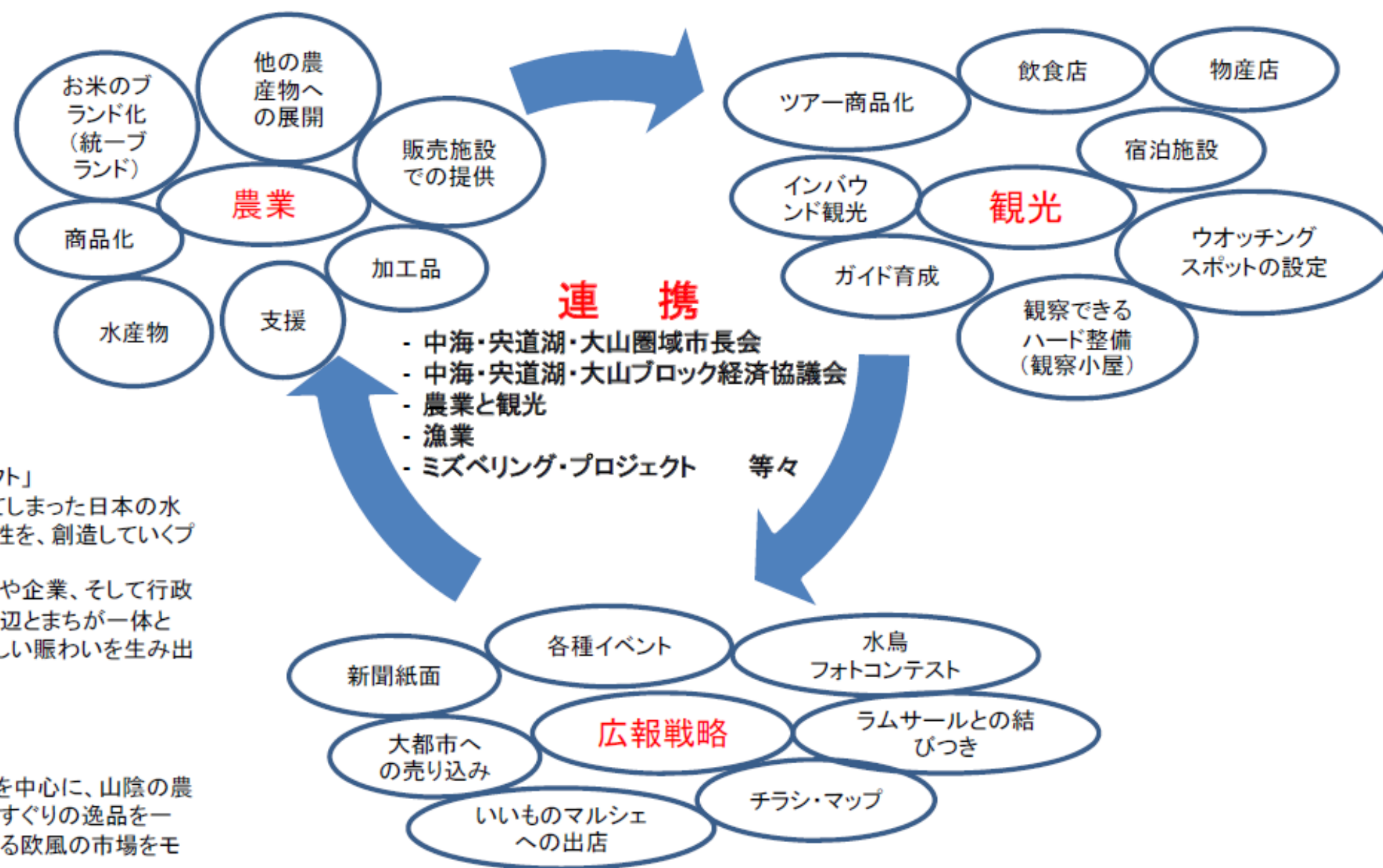
2 施肥と代かき・排水の時間や手法を工夫することにより、濁水の流出量を減らし、河川や湖沼の水質汚濁を軽減する取組

各団体代表者、2 県、5 市及び島根県農業協同組合、鳥取県西部農業協同組合へのヒアリング (平成 28 年 1 月実施) をもとに作成

生態系ネットワーク形成による大型水鳥類を通じた地域振興のキーワード

～より具体的なアクションを起こすにあたって～

住んでよし、訪れてよし みんなで潤う

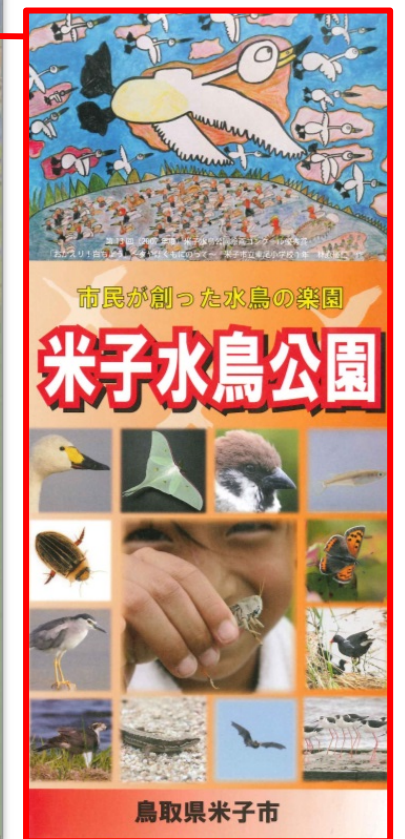


「ミズベリング・プロジェクト」
 かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を、創造していくプロジェクト。
 水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、水辺とまちが一体となった美しい景観と、新しい賑わいを生み出す取り組み。

「山陰いいものマルシェ」
 中海・央道湖・大山圏域を中心に、山陰の農水産品、加工品など選りすぐりの逸品を一堂に集めて展示・販売する欧風の市場をモデルにしたイベント

中海・宍道湖圏域における「バードウォッチング観光スポット」の紹介事例

- ・野鳥は、植物や小動物と異なり飛翔による移動能力が高く、警戒心が強いことから観察のためには双眼鏡等を必要とし、また多様な種類がいるため一定の予備知識が求められることが多い。冬季の観察では、特に寒さへの対応も必要となる。
- ・上記の点から、専門の観察ガイドが常駐し、観察機材や展示パネル等も充実し、しかも年間を通じて室内からのバードウォッチングが可能となる「野鳥観察施設」の存在は、大型水鳥類をテーマとした観光振興にとって欠かせない主要インフラと言える。
- ・中海・宍道湖圏域においては、圏域西端に「宍道湖グリーンパーク」が、圏域東端に「米子水鳥公園」の2施設が設置され、特定のバードウォッチャーのみならず一般観光客も積極的に受入れる体制があり、全国的にも恵まれた条件下にある。



鳥取県自然環境課「宍道湖・中海探鳥マップ」より

中海・宍道湖圏域におけるバードウォッチング展開事例

バードウォッチング専門会社による中海・宍道湖圏域へのツアー企画と
野鳥専門誌「BIRDER」(文一総合出版)への宣伝例

2015年11月号(左) / 12月号(右)

国内ツアー	国内ツアー
大洗～苫小牧航路 海鳥ウォッチング 11月6日(金)-11月8日(日) 朝0昼0夕0 大洗発往復19,800円 最少催行6名(最大18名) 同行ガイド: ♪鳥くん(永井真人) ミナミオナガミズナギドリを求めて、♪鳥くんのガイドで復活。	シマフクロウと厳冬の海鳥 12月24日(木)-12月26日(土) 朝2昼2夕2 東京発119,000円 大阪発132,000円 最少催行12名(最大22名) 同行ガイド: 中野泰敬 バス座席1名様2席利用。羅臼と落石、2回の海鳥クルーズも。
コウノトリと城崎温泉 12月6日(日)-12月7日(月) 朝1昼1夕1 東京・新横浜発66,000円 大阪発39,000円 最少催行15名(最大20名) 同行ガイド: 久下直哉 自然放鳥から10年、元コウノトリ飼育員の久下が豊岡盆地を案内。	♪鳥くんで行く冬の小笠原航路 海鳥ウォッチング 12月26日(土)-12月28日(月) 朝0昼0夕0 東京発49,800円 最少催行15名(最大20名) 同行ガイド: ♪鳥くん(永井真人) コアホウドリ、クロアシアホウドリやオーストンウミツバメを。
ハクガンを求めて! 朝日池と福島潟 12月18日(金)-12月19日(土) 朝1昼1夕1 東京・大宮発49,800円(お一人部屋利用) 最少催行12名(最大18名) 同行ガイド: 中野泰敬 ハクガンに期待し朝日池へ。福島潟では猛禽類も観察します。	撮影の旅 道南のワシと小鳥たち(追加設定) 1月19日(火)-1月22日(金) 朝3昼0夕3 東京発166,000円 最少催行7名(最大10名) 同行ガイド: 中野泰敬 コクガン観察の海岸で、シロハヤブサやユキホオジロも探します。
雪原のフクロウを求めて! 野辺山高原 12月21日(月)-12月22日(火) 朝1昼1夕1 東京発36,000円 最少催行15名(最大22名) 同行ガイド: 中野泰敬 雪が降り積もる中、樹上で佇むフクロウは何とも神々しく見えます。	冬の山陰 米子水鳥公園と斐伊川河口 1月22日(金)-1月24日(日) 朝2昼2夕2 東京発96,000円 大阪発68,000円 最少催行12名(最大20名) 同行ガイド: 久下直哉 思わぬ珍鳥や迷鳥に期待しながら、ガンや猛禽類、水鳥も観察。
シマフクロウと厳冬の海鳥 12月24日(木)-12月26日(土) 朝2昼2夕2 東京発119,000円 大阪発132,000円 最少催行8名(最大22名) 同行ガイド: 中野泰敬 バス座席1名様2席利用。羅臼と落石、2回の海鳥クルーズも。	撮影の旅 冬の風物詩・出水のツル 1月24日(日)-1月26日(火) 朝2昼0夕2 東京発138,000円 大阪発128,000円 鹿児島発106,000円 最少催行7名(最大12名) 同行ガイド: 中野泰敬 朝日や夕焼け空を背景に飛ぶ優雅なツルの撮影ポイントへご案内。
冬の小笠原航路 海鳥ウォッチング 12月26日(土)-12月28日(月) 朝0昼0夕0 東京発49,800円 最少催行15名(最大20名) 同行ガイド: ♪鳥くん(永井真人) 繁殖地に戻ってきたアホウドリ類やウミツバメ類の大群に期待。	往復フェリーで行く冬の九州 2月6日(土)-2月9日(火) 朝2昼2夕1 大阪発48,000円(温泉プラン) 49,000円(民宿プラン) 最少催行12名(最大22名) 同行ガイド: 久下直哉 往復フェリー寝台利用、九州を代表する探鳥地を順に巡ります。
冬の山陰 米子水鳥公園と斐伊川河口 1月22日(金)-1月24日(日) 朝2昼2夕2 東京発96,000円 大阪発68,000円 最少催行12名(最大20名) 同行ガイド: 久下直哉 ガンの増えと珍鳥や迷鳥との出会いに期待。温泉も楽しめます。	撮影の旅 道東・三大怪鳥をじっくり狙う(追加設定) 2月22日(月)-2月25日(木) 朝3昼0夕3 東京発178,000円 大阪発186,000円 最少催行7名(最大10名) 同行ガイド: 中野泰敬 シマフクロウ、オオワシ、タンチョウを中心に冬の道東を撮影。

お問い合わせ・資料請求は
株式会社 ワイバード
 観光庁長官登録旅行業第1834号
 総合旅行業務取扱管理者 山本幸正
 本社 Tel: 03-5827-8917 (5羽になったヤンバルクイナ)
 Fax: 03-5827-8823 (5羽になったハヤブサ)
 大阪サテライト Tel: 06-6858-8917 (6羽5羽でもヤンバルクイナ)
 Eメール: ybird@ybird.jp 営業時間: 9:30-18:00 土日祝日休業 担当: 上原千晴・森みよ子

〒110-0005 東京都台東区上野7丁目8番20号 晴花ビル6F
 HP: www.ybird.jp /

出雲地域におけるバードウォッチング宣伝チラシ

野鳥の宝庫 宍道湖西岸

そこは人々が守り、愛しんできた野鳥の宝庫
彼等(野鳥)との距離が限りなく近い場所

これほど近くに野鳥を観察できる場所は、
他にはほとんどないでしょう。
出雲の人々と、訪れるバーダーのマナーが
長年にわたり築いてきた
美しい信頼関係です。

羽音さえも感じられる
日本有数の観察スポット

野鳥観察
“旬の季節”は?

野鳥飛来の“旬の季節”はマガンやコハクチョウが繁殖のため飛来する11月から3月までの間で、マガンが国の天然記念物に指定されてからは、毎年数が増え続け、数千羽の野鳥の集団が冬の宍道湖西岸を賑わせている。早朝の斐伊川河口で、朝日に輝く湖面からマガンやコハクチョウの集団が一斉に斐川平野へ飛び立つ瞬間は最も壮大で魅力的だ。

宍道湖 出雲緑結び空港

アクセス 広島から約200分
米子から約30分

主催/道の駅湯の川(株式会社 特産ひかわ) 協力/出雲・宍道湖ツーリズムの会
 〒699-0501 出雲市斐川町学頭825番地2 TEL0853-73-9327 FAX0853-73-9328

ラムサール条約湿地における「マガン観察バスツアー」の事例

2015 大崎市ラムサールフェスティバル
 燕栗沼・周辺水田ラムサール条約登録10周年記念
 平成27年**11月22日**
会場：大崎市田尻文化センター
 大崎市田尻沼部字富岡166
特別企画 マガンがっなぐラムサール条約湿地を巡るバスツアー
 計9回：10月下旬～1月下旬の土日祝日
 詳細はHPをご覧ください。

参加費：無料 要申込み
 「バスツアー」、「交流会」への参加を希望される場合は、別途経費が必要です。裏面をご覧ください。電話、FAX又はEメールによりお申込み下さい。

■お申込先 大崎市産業政策課
 〒989-6188 宮城県大崎市古川七日町1-1
 TEL：0229-23-2281 FAX：0229-23-7578
 Email：sangyo@city.osaki.miyagi.jp
<http://www.city.osaki.miyagi.jp/news/index.cfm/detail.1.11260.html>

宮城県大崎市では、マガンの国内最大規模の越冬地である「燕栗沼・周辺水田」「化女沼」「伊豆沼・内池」の3湖沼がラムサール条約湿地に登録されていることを活かし、3湖沼の広域をバスで巡るバードウォッチングツアーを、冬季（10月～1月）の土日・祝日に企画開催している。

燕栗沼・周辺水田ラムサール条約登録10周年記念「大崎市ラムサールフェスティバル2015」
マガンがっなぐラムサール条約湿地を巡るバスツアー
開催案内

1. 概要

- 開催期間 平成27年10月～平成28年1月の土日祝日のうち9回
※「2. ツアー日程」及び「3. ツアー内容」をご参照ください。
- 開催場所 燕栗沼・周辺水田、化女沼、伊豆沼・内沼
- 企画
宮城県北部に位置するラムサール条約湿地「燕栗沼・周辺水田」「化女沼」「伊豆沼・内沼」を巡ります。各湿地や観察センターにはガイドがあり、湿地を眺めながら湿地の特徴や歴史、そこに棲む生きものなど、普段あまり聞く機会のない説明を聞くことができます。
また、ツアーでは渡り鳥の何万羽ものマガンなどが寝床である湿地に戻ってくる「マガンのねぐら入り」観察を行います。マガンはかつて絶滅が危惧されるほど数を減らしましたが、NPOや農業者、近隣住民等、様々な方たちの努力によって大幅に数を回復しました。
夕焼けの空一面に鳥たちが舞う、普段見ることのない圧巻の光景でありつつもどこか懐かしさを感じる光景を見てみませんか？

(4) ガイド

- NPO法人 燕栗ぬまっこくらぶ（燕栗沼・周辺水田）
- NPO法人 エコパル化女沼（化女沼）
- 公益財団法人 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団（伊豆沼・内沼）

- 費用 1人当たり 500円（保険料、お土産代）
※参加日当日の受付の際にお支払いください。
- 定員 1回につき 40人（先着順、要予約）
- 持ち物 防寒着、防寒グッズ、長靴、参加費

2. ツアー日程

平成27年10月～平成28年1月の土日祝日のうち9回開催いたします。
AコースからDコースまで4種類のコースがあり、各日程により運行コースと時間が異なりますので、次ページ以降のカレンダーと「3. コース内容」をご参照の上、参加希望日をお選びください。

【コース内容】

【Aコース】 燕栗沼・周辺水田でねぐら入りを観察します。四方八方から何万羽ものマガンが空から降り立つ壮大な光景を見ることができます。

乗車可 乗車可 乗車可
 加護坊温泉さくらの湯 → 古川駅 → 大崎市役所第2駐車場 → 化女沼
 13:30 出発 14:10 出発 14:20 出発
 ↓下車可 ↓下車可 ↓下車可
 → 燕栗沼・周辺水田 → さくらの湯 → 古川駅 → 大崎市役所第2駐車場
 17:45 解散 18:20 解散 18:30 解散

【Bコース】 燕栗沼・周辺水田でねぐら入りを観察します。また、伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンターで説明を聞き、伊豆沼の様子も観察できる3湿地を巡るコースです。

乗車可 乗車可 乗車可
 加護坊温泉さくらの湯 → 古川駅 → 大崎市役所第2駐車場 → 化女沼
 12:20 出発 13:00 出発 13:10 出発
 ↓下車可 ↓下車可 ↓下車可
 → 伊豆沼・内沼 → 燕栗沼・周辺水田 → さくらの湯 → 古川駅 → 大崎市役所第2駐車場
 17:35 解散 18:10 解散 18:20 解散

【Cコース】 化女沼でねぐら入りを観察します。数千羽のマガン等が頭上を通り過ぎていく光景を見ることができ、比較的マガンが近くで観察できること、すぐ近くで観察できる建物があることから、気軽に参加できます。

乗車可 乗車可 乗車可
 古川駅 → 大崎市役所第2駐車場 → 化女沼 → 燕栗沼・周辺水田
 13:00 出発 13:20 出発 13:50 出発
 ↓下車可 ↓下車可 ↓下車可
 → 加護坊温泉さくらの湯 → 化女沼 → 大崎市役所第2駐車場 → 古川駅
 17:10 解散 18:00 解散 18:10 解散

【Dコース】 化女沼でねぐら入りを観察します。また、伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンターで説明を聞き、伊豆沼の様子も観察できる3湿地を巡るコースです。

乗車可 乗車可
 古川駅 → 大崎市役所第2駐車場 → 伊豆沼・内沼 → 燕栗沼・周辺水田
 12:30 出発 12:50 出発
 ↓下車可 ↓下車可
 → 加護坊温泉さくらの湯 → 化女沼 → 大崎市役所第2駐車場 → 古川駅
 17:40 解散 17:50 解散

【ツアー開催日程カレンダー】

平成27年10月							平成27年11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
							8	9	10	11	12	13	14
4	5	6	7	8	9	10	15	16	17	18	19	20	21
11	12	13	14	15	16	17	22	23	24	25	26	27	28
18	19	20	21	22	23	24	29	30					
25	26	27	28	29	30	31							
						A							
平成27年12月							平成28年1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2
						A	3	4	5	6	7	8	9
6	7	8	9	10	11	12	10	11	12	13	14	15	16
13	14	15	16	17	18	19	17	18	19	20	21	22	23
20	21	22	23	24	25	26	24/31	25	26	27	28	29	30
27	28	29	30	31									

※アルファベットが記載されている日にちに開催いたします。アルファベットは「3. コース内容」に記載のコース名です。